

2015 年秋の大槌町保育園・幼稚園のチューリップの球根植えボランティア報告

岩手県ユニセフ協会

10月22日、大槌保育園・おさなご幼稚園・みどり幼稚園の3カ所の園庭で、33人のボランティアの皆さんが園児たちと一緒にチューリップの球根とピオラを植えました。使用したチューリップの球根は、今年も兵庫県ユニセフ協会からいただきました。ボランティアの皆さんも園児たちの笑顔に触れて、「また、来年も来たいね」と感想。フィリピン出身の方々の参加もありました。球根植えの後、仮設商店街で買い物をし、町を一望できる城山に登り、「復興はまだまだね」と話しながら、復興を祈願する「希望の灯り」※1に静かにみんなで手を合わせました。帰りのバスで「コーラスは楽しかったよ」など感想が寄せられました。



▲おさなご幼稚園の園児たちは「ちいさいおはなかわいいね」とチューリップの球根やピオラを植えました



▲元気に植える大槌保育園の園児たち



▲みどり幼稚園で土づくり・球根植えの後に記念撮影

●被災地を照らす「希望の灯り」を囲んで

2012年11月11日、復興を祈願する「希望の灯り」※1が大槌町に点灯されました。モニュメントは町の中心部や「ひよっこりひょうたん島」のモデルとされる、蓬莱島を望む城山の高台に設置されています。

「阪神淡路大震災1・17希望の灯り」から分灯され、陸前高田市には2011年12月10日に点灯されました。



←「希望の灯り」を囲んでボランティアさんたちと記念撮影